

介護者がつくる認知症情報誌

でいめんしあ

No. 13



無料
だワン!



絵・杉本聖奈「ここがいいニャン」

「認知症」で困ったら、Dカフェへ行ってみよう! 03

11のカフェの特長が一目で分かる!

祐天寺駅 Dカフェ・ラミヨ 04 Dカフェ・せらびあ 06	恵比寿駅 目黒駅 Dカフェ・さんま 07 Dカフェ・でんどう 07
学芸大学駅 Dカフェ・まちかど保健室 06 Dカフェ・世田谷下馬 06	武蔵小山駅 Dカフェ・月光原 05
都立大学駅 自由が丘駅 Dカフェ・都立大学 05 Dカフェ・東が丘 05 Dカフェ・自由が丘 04	西小山駅 Dカフェ・YORO 04

学び舎 Dカフェ & PLUS 08・09

～ゲストを招いて学習交流～
「ラミヨ」「東が丘」「さんま」
「世田谷下馬」

Dカフェでちょっと一服 14・15

Dカフェ各店への
アクセス方法を丁寧にご案内

めぐろ認知症サポートマップ 16・17

認知症がテーマの
18の活動グループ
半年間の開催スケジュールを
イラストマップで紹介!



特集 新型コロナウイルスと共に生きる

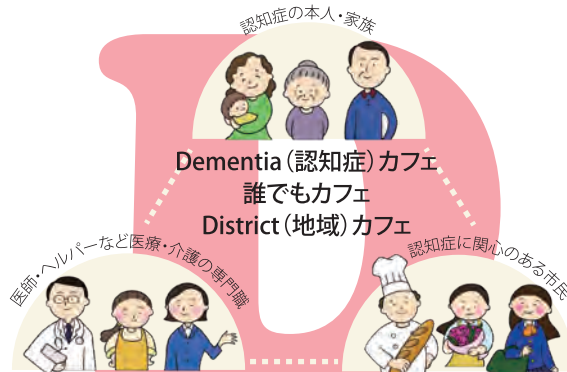
図説 新型コロナウイルス	18
目黒の行政の取り組みと介護の現場	21
厚生中央病院の取り組み 副看護部長・西川英子	24
コロナで考えたこと 松沢病院・新里和弘	25
緊急事態宣言下での成年後見 司法書士・宮内悠衣子	26
新型コロナ禍と弁護士の暮らし 弁護士・押見和彦	
寄稿	
「With コロナ」時代に「死者」から学ぶ「普通の暮らし」	20
ジャーナリスト・元日本経済新聞編集委員 浅川澄一	
コロナ対策の基本は持病対策あってこそ	23
医師・労働衛生コンサルタント 櫻澤博文	

連載エッセイ・コラム

Dカフェの風景	10
文・田邊元太郎	
認知症カフェであい旅	11
文・コスガ聡一	
地域医者のひとり言	13
文・檜林洋介	

Special Thanks: 今村美都 杉村静子 針間直美(イラスト) 高野由香里(フォト)
風草工房 Nan-na工房

参加費は300円。
コーヒーおかわり自由!
特長の異なる、個性豊かな
Dカフェが、あなたをお待
ちしています。



Dカフェは介護の経験者た
ちが開いた認知症カフェ。
認知症に関心を持つ人たち
の自由闊達な「語り場」です。
介護や医療の相談、情報収
集、友達づくりができます。

Dカフェへ ようこそ!

「認知症」で困ったら、Dカフェへ行ってみよう!

Dカフェは、[わが町の認知症カフェ]。

認知症の方も、一緒に、お気軽にどうぞ。

認知症への向き合い方、介護保険のことなど

医療・介護のベテランが、一緒に考えます。

本格コーヒーを味わい、知識を深め


友達づくりをしましょう。

Dカフェは、この町に11カ所、

いずれもユニークな個性派ぞろい。

あなたにピッタリなDカフェと

必ず、出会えますよ。



★認知症ケアの情報
 ★医療・介護・福祉の相談
 ★ものづくりアートワーク
 ★コグニサイズ（認知症リハ）
 ★アロマ マッサージ
 ★健康講話 ミニ学習会

新型コロナの状況次第で、開催を休止する場合があります。
 お出かけの際は必ずご確認を！ 03-3719-5592 NPO「Dカフェnet」



わが町の、11カ所のDカフェ

Dカフェ	最寄駅	会 場	
ラミヨ p.4	祐天寺	交流スペース「ラミヨ」	〔NPO本部 一般住宅〕
せらぴあ p.6	祐天寺	三宿病院	〔総合病院〕
まちかど保健室 p.6	学芸大学	訪問看護STORY学芸大学	〔訪問看護事務所〕
世田谷下馬 p.6	学芸大学	アライブ世田谷下馬	〔介護有料老人ホーム〕
都立大学 p.5	都立大学	日扇会第一病院	〔病院&介護サービス〕
東が丘 p.5	都立大学	東京医療センター	〔総合病院〕
自由が丘 p.4 New	自由が丘	オーナーズテラス自由が丘	〔住宅型老人ホーム〕
月光原 p.5	武蔵小山	清徳苑	〔高齢者介護施設〕
YORO p.4 閉店	養老乃瀧西小山店営業終了のため		
さんま p.7	目黒・恵比寿	厚生中央病院	〔総合病院〕
でんどう p.7	目黒	田道ふれあい館	〔高齢者センター〕

NPO 本部 じっくり懇談 Dカフェ・ラミヨ

Dカフェ発祥の地。ワンルームに認知症カフェのエッセンスが詰まっています。コロナ対策も万全。

- ▼交流スペース「ラミヨ」
(五本木1丁目)
- ▼第2土曜日 2時～4時
第2日曜日・第4土曜日 1時～4時



ソーシャルディスタンス、マスク、窓開け換気



赤・青のストライプが目印



検温、ピッ！



↑
体温計
↑
消毒液

指はしっかり洗う！



多世代シェアハウス Dカフェ・自由が丘

お年寄りと若者が助け合って暮らす、おしゃれな集合住宅「オーナーズテラス自由が丘」。8月にDカフェオープン。



- ▼オーナーズテラス自由が丘
(緑が丘2丁目)
- ▼第3水曜日 2時～4時

養老乃瀧で介護相談 Dカフェ・YORO

第4日曜の午後は「養老乃瀧介護相談日」。専門職と介護経験者がじっくりお話を聞きますよ。



- ▼養老乃瀧西小山店
(原町1丁目)
- ▼第4日曜日
2時半～4時

東京医療センター Dカフェ・東が丘

診療棟3階の講堂とホワイエが会場。医療職と介護家族が協働して運営しています。学習会とカフェの行き来は自由。



お隣では学習会「ミニフォーラム」



ホワイエではゆっくりおしゃべり



マッサージ



- ▼東京医療センター 3階 (東が丘2丁目)
- ▼第2水曜日 2時～4時

町のしゃべり場

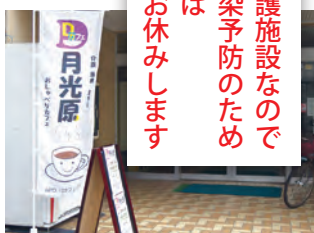
Dカフェ・月光原

認知症のご家族、民生委員、看護師、ケアマネなどが活発に交流。臨床美術コーナーも人気です。



医師や看護師ともじっくりおしゃべり

高齢者介護施設なので
コロナ感染予防のため
Dカフェは
3月までお休みします



- ▼清徳苑ホーム1階 (目黒本町4丁目)
- ▼第1日曜日 2時～4時

日扇会第一病院

Dカフェ・都立大学

都立大学駅から徒歩5分。日扇会第一病院1階のリハビリ室が会場。ものづくりが楽しめます。



土曜の午後、専門職も交えて、ゆっくり懇談、ものづくり

12月～2月は会場の都合でお休みします



- ▼日扇会第一病院1階 (中根2丁目)
- ▼第3土曜日 1時半～3時半

老人ホームと町会のコラボ Dカフェ・世田谷下馬

アライブホームと下馬6丁目町会とNPOが協働で運営。偶数月には隣室で「ミニ学習会」も開催。



ミニ学習会



ホームと町の人と一緒に



▼アライブケアホーム/
下馬6丁目町会会館(下馬6丁目)
▼第3日曜日 2時~4時

三宿病院 Dカフェ・せらぴあ

三宿病院は認知症疾患医療センター。医師、看護師、セラピストなど専門職と友達になりましょう。



テーブルごとに多彩な交流

専門医清塚鉄人さん



無料送迎バス

▼三宿病院
(上目黒5丁目)
▼第2金曜日
2時~4時

看護師と健康相談 Dカフェ・まちかど保健室

訪問ナースと介護経験者が、クスリの管理や認知症介護について知恵を出し合います。



お昼に、食事を取りながら

時にはお花見も



▼訪問看護STORY
(中町2丁目)
▼第4月曜日
12時~2時

厚生中央病院 Dカフェ・さんま

3階の2部屋が会場。A室はくつろぎルーム、B室はお勉強の「座・さんま塾」。行き来は自由です。アロマやマッサージでリラックス体験も。



アロマでいい気持ち



それぞれのテーブルで



座・さんま塾



- ▼厚生中央病院3階
(三田1丁目)
- ▼第3金曜日 2時～4時

田道ふれあい館 Dカフェ・でんどう

会場は3階の機能訓練室。2階の高齢者センターや1階の在宅多機能センターの皆さんも一緒に活動しています。

ものづくりテーブル



広いスペースでゆったりと



- ▼田道ふれあい館3階(目黒1丁目)
- ▼第1土曜日 2時～4時

MEMO

変異して拡大するコロナウイルス

新型コロナウイルスの遺伝情報は、流行が始まった中国・武漢から少しずつ変化しつつ、世界に広がっています。コロナウイルスの遺伝物質RNAは、人間に感染し細胞を乗っ取ると自身をコピーして増えていきます。RNAは性状が不安定なため、コピーミスによる突然変異が起きやすく、すでに200種を超える変異タイプがあるとする研究グループもあります。

国立感染症研究所（感染研）の遺伝子解析によれば、国内での初期の新型コロナウイルスや2月のダイヤモンド・プリンセス号のものは“武漢タイプ”に近く、3月後半以降はヨーロッパ経由のより強力なものが中心になっています。ダイヤモンド・プリンセス号内で広がったタイプは船外では見つかりません。感染研は「初期の中国やクルーズ船からの感染拡大は防げた」と発表しました。

インフルエンザウイルスもRNAを遺伝物質とします。増殖するスピードが速く、構造の変化も起きやすいので常に特徴が変化しています。ワクチンも効きにくく、繰り返し感染することもあります。



米FDA、アルツハイマー病新薬を優先審査

エーザイと米バイオジェンが共同開発している、アルツハイマー病治療薬「アデュカヌマブ」について、米食品医薬品局（FDA）が優先審査に指定しました。これにより、2021年3月までには承認の可否が出ることになります。「学び舎カフェ」はこの情報を追いかけています。

学び舎 Dカフェ

「ラミヨ」「東が丘」「さんま」「世田谷下馬」では、カフェと並行して学習交流会をやっています。認知症専門医や地域のかかりつけ医、訪問診療医、歯科医、薬剤師、ケアマネジャー、訪問看護師……。多彩なゲストスピーカーを囲んで、交流を深めています。

「ラミヨ」ゲストを囲んで

（スペース「ラミヨ」）
Dカフェ・ラミヨの第2土曜日は、現場主義エキスパートを迎えての熱いセッション。医療職、介護職、市民、それぞれの視点から議論を交わします。スペースに限りがあるので「予約制」です。電話またはホームページから申し込んでください。

東が丘「ミニフォーラム」

（東京医療センター）
東が丘の「ミニフォーラム」はカフェと並行して、隣室の大会議室で開催しています。スピーカーには東京医療センターの人たち以外にも、地域の医療・介護職を招いて、その回のテーマについて参加者それぞれの立場から話し合います。

さんま「座・さんま塾」

（厚生中央病院）
ここでは座談スタイルの学び塾。参加者が膝を突き合わせて、医療や介護の課題について語り合います。スピーカーには渋谷区や品川区の専門職も招きます。隣の部屋はゆったりとしたカフェスペース。穏やかな午後の時間が流れています。

世田谷下馬「ミニ学習会」

（アライブケアホーム）
Dカフェ・世田谷下馬の「ミニ学習会」は偶数月の開催。老人ホームに暮らす人々と近所の皆さんが、認知症や介護保険のこと、高齢期の住まい方などについて一緒に勉強します。目黒と世田谷の医療職・介護職、介護者が情報交換しています。



→東京医療センター・坂元与志子さん「緊急受診あれこれ」（東が丘）



→ユマニチュードインストラクター・盛真知子さん「排泄ケア」（東が丘）



↑えびす英クリニック・松尾英男さん「訪問診療で大事なこと」（さんま）

←松沢病院認知症疾患医療センター・新里和弘さん「認知症とはどういうものか」（世田谷下馬）



←ベル・志村文彦さん「最新お葬式事情」訪問医や医療ソーシャルワーカーも加わって（ラミヨ）



◆学習交流会の日程 ゲスト&テーマ

内容は変更することがあります。事前に確認を。03-3719-5592 NPO「DカフェNet」

Dカフェ	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ラミヨ「ゲストを囲んで」 2時	10 (土) 多摩大学・大川内克則「認知症の新薬開発の現状」	14 (土) 東大名誉教授・大井玄「認知症と向き合う」	12 (土) 目黒警察署ふれあいポリス・浮田香「目黒の認知症問題」	9 (土) ケアプランセンターこまば・島田佳代「ケアプランの考え方」	13 (土) 言語聴覚士・前田順子「認知症と言語聴覚士」	13 (土) 司法書士・宮内悠衣子「コロナ禍と成年後見」
東が丘「ミニフォーラム」 2時15分	14 (水) 「未定」ホームページでご確認ください	11 (水) 「未定」ホームページでご確認ください	9 (水) 「未定」ホームページでご確認ください	13 (水) 「未定」ホームページでご確認ください	10 (水) 「未定」ホームページでご確認ください	10 (水) 「未定」ホームページでご確認ください
さんま「座・さんま塾」 2時15分	16 (金) 糖尿病専門看護師・大久保直樹「足爪のケア」	20 (金) ライオン・大石田晃「歯磨きとお口の健康管理」	18 (金) アスティニーニ歯科・今中直子「お口の健康“飲み込み”」	15 (金) 認知症専門医・波岡那由太「Dカフェの活用法」	19 (金) 多摩大学・大川内克則「認知症の新薬開発の現状」	19 (金) 稲城台病院認知症疾患医療センター・厚東知成「認知症と非薬物療法」
世田谷下馬「ミニ学習会」 2時30分	18 (日) 「休止」	—	20 (日) みなみ東京訪看・石代真澄「訪問看護師の仕事」	—	21 (日) ふじわら歯科・藤原吉邦「高齢期の口腔健康管理」	—

繋がりを求めて

田邊元太郎

電話の向こうで94歳になる母が話している。「ここは毎日三度三度食事が出てくるし安心やねえ。私はここで神様と二人で暮らしているの。だから何も心配せんでいいよ」。それまで一人暮らしでいた母が、兵庫県西宮市にある介護施設に移ってほぼ1年になる。今までは月1回のペースで面会し、外出して食事を楽しんでいたが、コロナの影響で今年3月から面会も外出も出来なくなった。母との接点は携帯電話しかなくなり、週に1回程度、毎回同じような話をしている。

95歳になる妻の母（私の義母）は都内の介護施設に入居しているが、同じように面会・外出が出来なくなり、携帯電話を持っていない母親に妻は定期的に手紙を書いている。毎週のように面会していたそれまでに比べると、きっと物足りなく感じていたと思うが、妻の手紙に対して短いながらも返事が来るようになった。

Dカフェの活動も2月の後半から一部を除いてほぼ全面的に開催出来ない時期が続いた。ある日、一人の参加者からお電話をいただき、短時間ながらお話しする機会があった。その時、外出自粛が続く中で、他人との繋がりを欲しているのだなあと感じた。そこで最近Dカフェに来られた参加者の皆さまにお手紙を添えて「でいめんしあ」No.12を送ることにした。認知症のご本人とご家族が外出も出来ずに、一対一で家に引籠りがちの時

に、なにがしかの繋がりを感じて気分転換になればとの思いからだ。Dカフェの活動は、直接会って、話して、お互いに笑顔を交わしてというのが原則ではあるが、会って話すことが現実難しい時に、電話・手紙・メールなどの手段で繋がりを感ずることは出来るだろう。

6月末になって母の施設は15分限定で面会が出来るようになったが、15分のために兵庫県まで行くわけにもいかず、施設側で入居者と家族をインターネットで結ぶ「WEB面会」という方法を準備していただいた。パソコンの画面越しに話すより直接会って話す方がいいに決まっているが、一方では普段会うことのない、ひ孫との会話がWEBでは容易に実現出来るというメリットも発見した。

コロナが終息した後にはいろいろな道具をうまく使い分けながら、遠隔地や介護のために自宅を離れることが出来ない皆さんとDカフェとの繋がりを保っていく方法を考えていきたいと思う。



田邊元太郎（たなべ・もとたろう）さん

NPO「Dカフェnet」副理事長。フルマラソン完走経験者だが、11月の「目黒シティラン」は開催中止が決まっている。残念！



認知症カフェ
でよい旅

緊急事態下で 認知症カフェアンケートを実施

今年5月、新型コロナウイルスの感染拡大が認知症カフェにどのような影響をもたらしたのかを調査するためアンケートを行いました。対象はこれまで私が取材してきたカフェのうちの43カ所。そのうち36カ所から回答がありました。

まずそれぞれの活動状況について尋ねたところ、5月の段階で休止せず継続しているカフェが6カ所あることが分かりました。その内訳は、常設型が2カ所、オンラインで継続していたカフェが2カ所、そして国内で最も早く始まった「Dカフェ・ラミヨ」と「石蔵カフェ」（宇都宮市）の老舗2カ所でした。

その他30カ所に休止を決めた時期について尋ねたところ、19カ所が2月末から3月上旬と回答しました。これは専門家会議による「感染拡大が収束かの瀬戸際」会見（2月24日）から、全国の小中学校などへの休校要請（2月27日）とその実施（3月2日から）の時期に重なります。一方、4月7日の緊急事態宣言以降に休止を決めたカフェは4カ所にとどまりました。多くのカフェは緊急事態宣言を待たずに判断していたことが分かりました。

再開時期については24カ所が「決まっていない」と回答しました。再開の条件については「緊急事態宣言の解除」としたカフェが8カ所、「会場施設の再開」が6カ所、「自治

体の判断」が4カ所などと分散する傾向がありました。

今後カフェを開催するにあたり変更することがあるかという問いには、「人数を減らす」と「オンライン化」がともに8カ所となりました（最多は「変更は考えていない」の17カ所）。「オンライン化」については自由記述欄でも高い関心が示されました。ただし、すでにオンライン化に挑戦していたカフェからは「発言の機会が少ない人がいる」、「症状が進んだご本人は楽しめない」といった情報も提供されました。

今回の緊急事態は、カフェの真価を見つめなおす機会になったといえるでしょう。私たちは新しいコンセンサスを目指して対話を深めていかなければなりません。

詳しくはウェブメディア「なかまある」〈緊急アンケート～自粛から with コロナへ。認知症カフェそれぞれの対応は？〉まで。
▼<https://nakamaaru.asahi.com/article/13391279>

コスガ聡一（こすが・そういち）さん

認知症カフェジャーナリスト。これまで訪れたカフェは全国200カ所以上。朝日新聞社のウェブメディア「なかまある」で、動画コーナー「コッシーのカフェ散歩」を連載中。

フ
ォ
ト
グ
ラ
フ
ァ
ー
の
コ
ス
ガ
聡
一
さ
ん
が
全
国
の
認
知
症
カ
フェ
を
訪
ね
て



お知らせ：

コスガ聡一さんが全国の個性派28カフェを多くの写真と独自の分類で紹介する、認知症カフェ本の最新版が出ました。日本初の認知症カフェとして「Dカフェ・ラミヨ」も登場します。

コスガ聡一・著

『全国認知症カフェガイドブック 認知症のイメージを変えるソーシャル・イノベーション』（クリエイツかもがわ刊）定価：本体 2000 円+税

＝ 訪問診療 ＝

24時間365日、ご自宅での生活をサポートします。
 診療、採血、点滴、お薬の処方などを往診で行い
 ご自宅お看取りまで、対応しています。
 目黒区・渋谷区を中心に
 地域の病院や訪問看護ステーション
 ケアマネジャーなどと緊密に連携しています。



院長 松尾英男
 日本在宅医学会専門医
 認知症サポート医

医療法人社団 松健会 **えびす英クリニック**
 ー 在宅療養支援診療所 ー
 (2001年開業)

152-0022 渋谷区恵比寿南2-17-2-102
 電話 03-5720-7760 <http://hideclinic.com/>

目黒総合法律事務所

目黒区下目黒 1-7-5-402

目黒駅から徒歩5分
 弁護士4人体制



おしみ
 代表 **押見 和彦**

- ・トラブルに巻き込まれそうだ
- ・周囲に知られずに処理したい
- ・今の対応で問題ないか確認したい

わたしたちが精一杯、丁寧に、
 誠実に対応いたします

まずは
 予約・相談

03-5719-3735
 平日9時半～17時半

メール相談・予約はこちら

目黒総合法律 ⇒ 予約フォームへ

マイパートナー司法総合事務所

こんな相談がある時は
 お気軽にご連絡ください
 (相談は無料です)

身元保証で
 お困り

終活の
 準備をしたい

相続・贈与
 について

成年後見人の
 手続きは？

目黒区上目黒 1-16-2
 鹿コーポラス 202
 (東横線・日比谷線 中目黒駅徒歩3分)

TEL : 03-6451-0686

Mail : shihou@my-partner.jp

<https://my-partner.jp>

土日祝休(ただし予約制にて対応可能)



代表司法書士 宮内 悠衣子

女性ならではのきめ細かいサポートで
 地域のみなさんのお困りを解決します！

当事務所は【親族後見】を応援しています！
 書類作成や成年後見人候補者受任、関連セミナーの開催、
 ご自身で可能なwebサービスも展開しています。

<https://gantanki.com>

ゆいごんじ いし たちあい

遺言時医師立会支援サービス

～相続を『争族』にしないために～

- ◆遺言作成に際し、医師が立ち合いの上、
 遺言者の認知機能や精神活動を評価！
- ◆診断書(医的証明書)発行にてその遺言内容を
 医的に担保します。
- ☆認知機能の改善策も提案可能！



① 「自筆証書遺言」の
 医的担保

② 成年被後見人も
 公正証書遺言
 作成可！

→複数名の医師立会(民法973条)
 手配支援も医師・櫻澤が提供中。
 ご遠慮なくお問い合わせください

合同会社 パラゴン・遺言時医師立会支援センター


107-0062 港区南青山5-17-2-502

電話 03-6869-0698 (平日9時～17時30分)

詳細はQRコードからHPを確認を→





榎林洋介 [地域医者の  ひとり言]

新型コロナウイルスと「医療崩壊」

2019年末に中国武漢市で発生した新型コロナウイルスに由来する感染症症候群（COVID-19）は瞬く間に全世界に広がり、日本を含む多くの国で未だ収束に至らず、日々感染者が増加しています。この経過の中で「医療崩壊」という言葉がよく聞かれます。元々は医療費削減政策や医療訴訟の増加を背景に、外科や産婦人科、小児科など訴訟リスクの高い科を志す医師が減少し運営が難しくなるなど、必要とされる医療資源が十分に供給できなくなる状況に対して用いられてきたものと記憶しています。

一方、最近の「医療崩壊」とは、たとえば海外の病院の集中治療室で「物資がない！患者が溢れて収容するベッドがない！」などと医師たちが叫び、さながら野戦病院のようにセンサーシヨナルに報道する場面で用いられていました。まさに病院が崩れ落ちているかのように。これは高度医療機器を必要とする患者さんが急速に増加するような状況で発生しましたが、現在は体制も改善し、以前ほどの危機的な状況ではありません。

本来の意味での「医療崩壊」はこれからゆっくり時間をかけて進んでいくものと思

います。具体的には、ほぼ全ての形態（病院、診療所）の医療機関で収入が大幅に減少し、特にCOVID-19を積極的に受け入れる医療機関で顕著です。受け入れには専用の病棟を用意しなければならず、そこに入院できる数は元のベッド数よりもかなり制限されます。そのためコロナ以外の患者さんの入院もベッドが制限され、入院や治療が先延ばしになります。手術室、検査器具なども専用に区分されるため利用が難しくなります。しかしコロナの治療に対して特別高額な医療費が支払われるわけではありません。病院においては毎月億単位の赤字が発生していると聞いています。診療所でも患者さんの判断や処方日数の長期化、電話再診の増加などで受診抑制がかかり、ほとんどの機関で収入は大幅に減少しています。当院でも前年同月比50%程度で数カ月経過しています。他の業種と同じく、この状況が続けば閉鎖せざるを得ない医療機関が増加し、医療システムはゆっくり「崩壊」し、形を変えてゆくものと思われます。答えは今のところ全く見えていません。当面は目の前の強敵に対峙してゆくの一杯の状況と思われれます。

榎林洋介（ならばやし・ようすけ）さん

榎林神経内科クリニック院長。目黒区医師会理事。認知症に深い識見を持ち、訪問診療に誠実に取り組む「わが町のお医者さん」です。



東横線 祐天寺駅

ラミヨ 目黒区五本木1-5-11 ラミヨ

- 第2土曜 2時～4時 ←「ゲストを囲んで」※要予約
- 第2日曜 1時～4時
- 第4土曜 1時～4時

せらびあ 目黒区上目黒5-33-12
三宿病院 3階講義室

第2金曜 2時～4時

- バス停: 三宿病院前
渋谷駅～下馬一丁目循環 / 目黒駅～野沢龍雲寺
- 三宿病院行きシャトルバス
祐天寺駅東口「みずほ銀行」前発 1:30 / 2:30 / 3:30

学芸大学駅

まちかど保健室 目黒区中町2-31-10
訪問看護STORY学芸大学

第4月曜 12時～2時

- バス停: 水道局目黒営業所前
目黒駅～三軒茶屋駅 / 渋谷駅東口～洗足駅

世田谷下馬 世田谷区下馬6-29-22
アライブケアホーム多目的室
下馬6丁目町会会館

第3日曜 2時～4時

都立大学駅・自由が丘駅

都立大学 目黒区中根2-10-20
日扇会第一病院 1階

第3土曜 1時半～3時半

- バス停: 中根2丁目 多摩川駅～東京医療センター

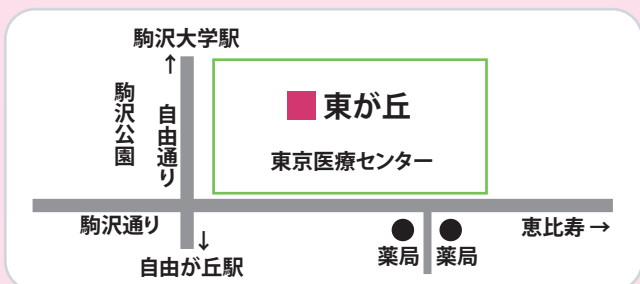
自由が丘 目黒区緑が丘2-3-1
オーナーズテラス自由が丘

第3水曜 2時～4時

東が丘 目黒区東が丘2-5-1
東京医療センター 3階

第2水曜 2時～4時

- バス停: 東京医療センター前 / 東京医療センター
恵比寿駅～用賀駅 渋谷駅～東京医療センター
自由が丘駅～東京医療センター ほか





Dカフェで ちよっと 一服



問い合わせ：
NPO「Dカフェ net」
<http://d-cafe.kazekusa.jp/>
TEL&FAX 03-3719-5592

参加費
300円

コーヒー・紅茶
おかわり自由



スナック付



Dカフェの上手な活用法

◆複数のDカフェへ 行ってみよう

特長の異なるカフェで、いろいろな情報と仲間に出会えます。ニーズとテイストに合ったカフェを見つけましょう。

◆認知症の人とペアで 行ってみよう

ペアで参加してみましょ。専門職やケア体験豊富な人たちがお迎えします。ゆっくり相談もできますよ。

◆散歩のついでに 寄ってみよう

「予約不要」「出入り自由」本格コーヒーが飲み放題です。家族で、また友人と……。気軽にお立ち寄りください。



JR 目黒駅 恵比寿駅

さんま 目黒区三田1-11-7 厚生中央病院3階
第3金曜 2時～4時

でんどう 目黒区目黒1-25-26 田道ふれあい館3階
第1土曜 2時～4時

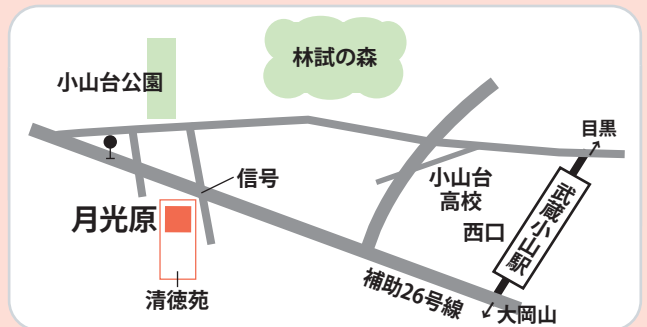
- バス停：権之助坂
目黒駅～大岡山小学校前
目黒駅～三軒茶屋駅
ほか
- バス停：田道小学校入口
渋谷駅～大井町駅
渋谷駅東口～五反田駅
目黒駅～野沢龍雲寺



東急目黒線 武蔵小山駅 西小山駅

月光原 目黒区目黒本町4-2-1 清徳苑ホーム1階
第1日曜 2時～4時

●バス停：月光原 五反田駅～世田谷区民会館(弦巻営業所)



YORO 目黒区原町1-5-7 養老乃瀧西小山店
第4日曜 2時半～4時



「認知症の医療と介護の連携」を推進するセンター病院です。
 広域・多機能の「地域拠点型」と、目黒区特化の「地域連携型」があります。
 クリニックや介護事業所などとネットワークを組み、支援活動を行います。

認知症疾患医療センター

種別	活動地域	特長
地域拠点型センター 「松沢病院」 京王線・八幡山駅 03-3303-7211	目黒区 世田谷区 渋谷区	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の専門入院病棟 1日のできる総合的な鑑別診断 家族相談（要予約・自費） アウトリーチ（出前診療） センター長の 新里和弘さん
地域連携型センター 「三宿病院」 東横線・祐天寺駅 03-3711-5771	目黒区	<ul style="list-style-type: none"> 専門医・セラピストによる鑑別診断 医師や専門職による医療相談 認知症患者と家族に対する初期集中支援 目黒区のネットワークづくり センター長の 清塚鉄人さん

～若年性専門のワンストップ相談～

若年性認知症総合支援センター

医療・介護・社会保障・契約・就労など、多面的な相談ができます

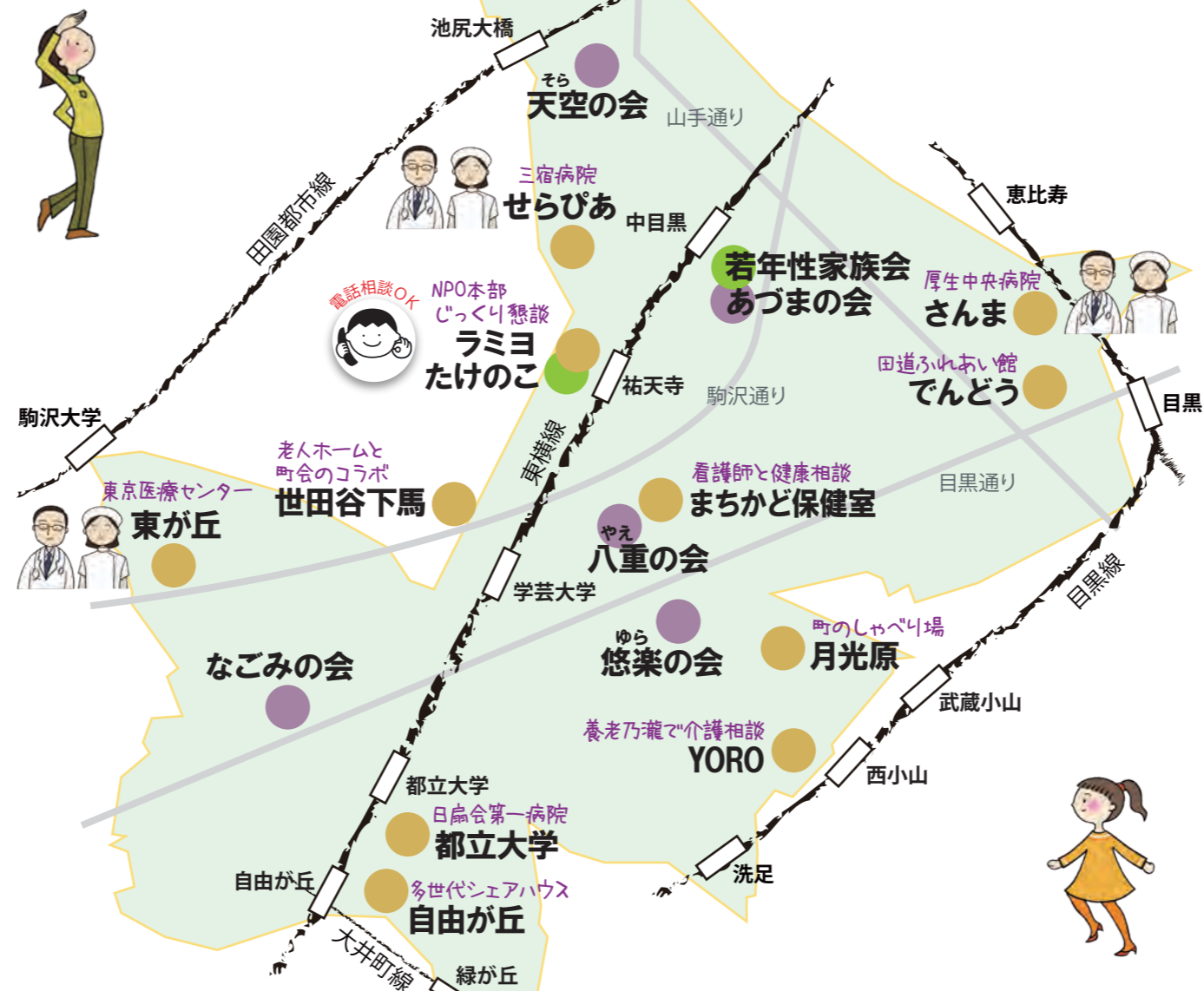
- 電話相談 月曜～金曜 9時～5時
- 来所面談 予約制

無料



東横線・学芸大学駅 03-3713-8205

めぐろ認知症サポートマップ



Dカフェ 本人・家族ほか誰でも参加できます
<http://d-cafe.kazekusa.jp/>

- ラミヨ** 祐天寺駅
 どこ：五本木1-5-11 交流スペース「ラミヨ」
 いつ：第2土・日曜、第4土曜 1時～4時
- せらびあ** 祐天寺駅
 どこ：上目黒5-33-12 三宿病院内
 いつ：第2金曜 2時～4時
- まちかど保健室** 学芸大学駅 バス：水道局目黒営業所前
 どこ：中町2-31-10 訪問看護STORY学芸大学
 いつ：第4月曜 12時～2時
- 世田谷下馬** 学芸大学駅
 どこ：世田谷区下馬6-29-22 アライブケアホーム
 いつ：第3日曜 2時～4時
- 都立大学** 都立大学駅
 どこ：中根2-10-20 日扇会第一病院内
 いつ：第3土曜 1時半～3時半
- 東が丘** 都立大学駅 バス：東京医療センター
 どこ：東が丘2-5-1 東京医療センター内
 いつ：第2水曜 2時～4時
- 自由が丘** 自由が丘駅
 どこ：緑が丘2-3-1 オーナーズテラス自由が丘
 いつ：第3水曜 2時～4時
- 月光原** 武蔵小山駅 バス：月光原
 どこ：目黒本町4-2-1 清徳苑ホーム1階
 いつ：第1日曜 2時～4時
- YORO** 西小山駅
 どこ：原町1-5-7 養老乃瀧西小山店
 いつ：第4日曜 2時半～4時
- さんま** 目黒駅・恵比寿駅
 どこ：三田1-11-7 厚生中央病院内
 いつ：第3金曜 2時～4時
- でんどう** 目黒駅 バス：権之助坂
 どこ：目黒1-25-26 田道ふれあい館
 いつ：第1土曜 2時～4時

- 目黒認知症家族会 たけのこ**
 どこ：交流スペース「ラミヨ」
 いつ：第2土曜 11時～12時半
- 若年性認知症家族会**
 どこ：目黒区役所会議室
 いつ：不定期 2時～3時半

- 天空(そら)の会**
 どこ：北部包括支援センター
 いつ：第2木曜 1時半～3時半
- あづまの会**
 どこ：目黒区役所
 いつ：第3水曜 1時半～3時半
- なごみの会**
 どこ：西部包括支援センター
 いつ：第3木曜 10時～11時半
- 悠楽(ゆら)の会**
 どこ：月光原住区センター
 いつ：第4水曜 1時半～3時半
- 八重(やえ)の会**
 どこ：中央町さくらプラザ
 いつ：第4木曜 1時半～3時半

■活動のスケジュール 2020年10月～2021年3月

名前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	連絡先
ラミヨ	10(土)11(日)24(土)	8(日)14(土)28(土)	12(土)13(日)26(土)	9(土)10(日)23(土)	13(土)14(日)27(土)	13(土)14(日)27(土)	NPO「Dカフェnet」 03-3719-5592 d-cafe@kazekusa.jp
せらびあ	9(金)	13(金)	11(金)	8(金)	12(金)	12(金)	
まちかど保健室	26(月)	—	28(月)	25(月)	22(月)	22(月)	
世田谷下馬	18(日)	15(日)	20(日)	17(日)	21(日)	21(日)	
都立大学	17(土)	21(土)	—	—	—	—	
東が丘	14(水)	11(水)	9(水)	13(水)	10(水)	10(水)	
自由が丘	21(水)	18(水)	16(水)	20(水)	17(水)	17(水)	
月光原	—	—	—	—	—	—	
YORO	閉店						
さんま	16(金)	20(金)	18(金)	15(金)	19(金)	19(金)	
でんどう	3(土)	7(土)	5(土)	—	6(土)	6(土)	
認知症家族会 たけのこ	10(土)	14(土)	12(土)	9(土)	13(土)	13(土)	03-3719-5527 takenoko@kazekusa.jp
若年性認知症家族会	30(金)	—	4(金)	—	25(木)	—	03-5722-9702 目黒区福祉総合課
天空(そら)の会	8(木)	19(木)	10(木)	14(木)	18(木)	18(木)	03-5428-6891 北部包括支援センター
あづまの会	21(水)	18(水)	16(水)	20(水)	17(水)	17(水)	03-5724-8030 東部包括支援センター
なごみの会	15(木)	19(木)	17(木)	21(木)	18(木)	18(木)	03-5701-7244 西部包括支援センター
悠楽(ゆら)の会	28(水)	25(水)	23(水)	27(水)	24(水)	24(水)	03-5724-8033 南部包括支援センター
八重(やえ)の会	22(木)	26(木)	24(木)	28(木)	25(木)	25(木)	03-5724-8066 中央包括支援センター

※予定は変更することがあります。
 出かける前に、必ず確認のお電話を！

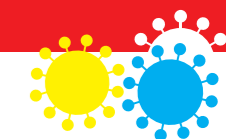


介護者の会は新型コロナのため会場を変更する場合があります。

Dカフェ

家族会

介護者の会



特集 新型コロナウイルス COVID-19 と共に生きる

[3つのエチケット]

マスクの着用

マメな手洗い

30秒

人との距離

2メートル

ウイルスの付いた
手や指で、
口・鼻・目に触らない!



× 指を鼻腔にあてる
× ハナクソをとる



× 目じりをこする
× 目ヤニを取る

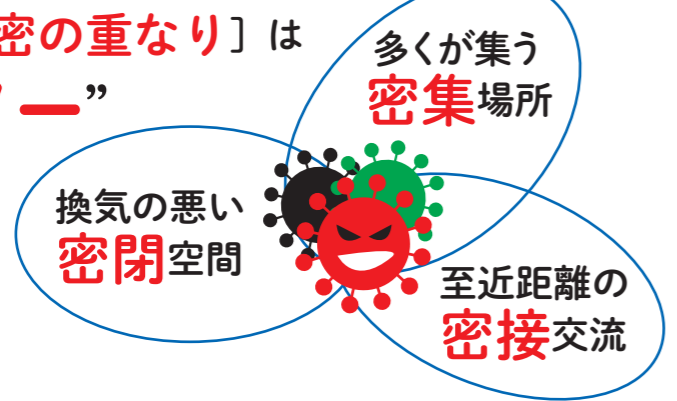


× 爪を噛む
× 手で口をふさぐ
× 指をしゃぶる



[3密の重なり]

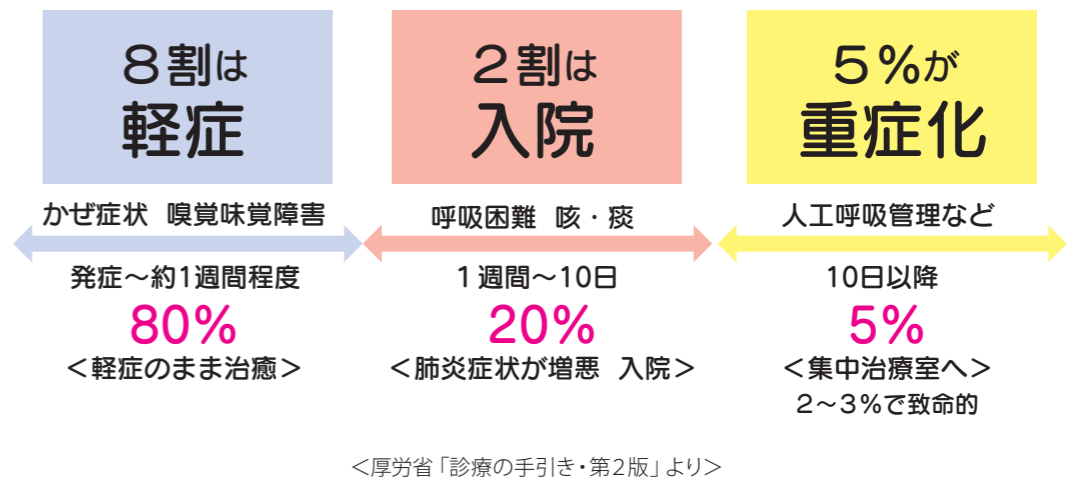
“ノ”



COVID-19の特徴とは?

- 潜伏期間が長く(2~10日)、無症状でも他の人に感染させる
- 感染者の8割が軽症か無症状のまま治癒する
- 重症・軽症にかかわらず、8割は他の人に感染させていない
- 高齢者、喫煙歴者、基礎疾患を持つ人などが重篤化しやすい

<厚労省ホームページより>



受診相談窓口 ▶ 平日昼間 目黒区保健所 03-5722-9089 ▶ 平日夜間・土日祝日 終日 東京都合同電話センター 03-5320-4592

世界的大流行・パンデミックの経緯

- ・ 2019年秋、武漢で発生
- ・ アジア ⇄ 欧州 ⇄ 米州と行き来しつつゲノムを変異させ全世界に拡大
- ・ 3/11 WHOパンデミックを宣言
- ・ 6/19 WHO「パンデミックが加速」
- ・ 6/28 世界感染1000万人を超える
- ・ 8/11 さらに、わずか40日で2000万人超え

人口10万人あたり死者数 桁違いな地域差

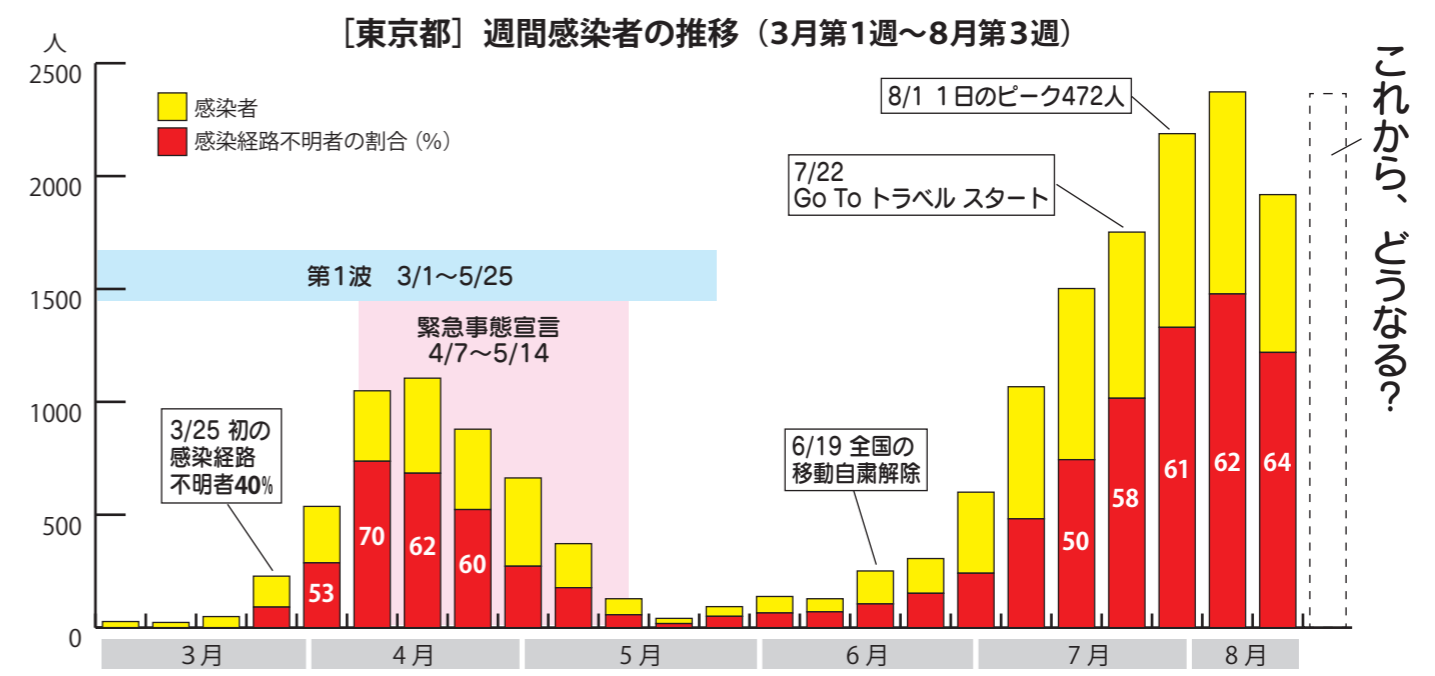
米国 51.4人	スペイン 61.2人
韓国 0.6人	日本 0.8人 (8月)

日本(東京)の流行の経緯

- ・ 2020年1月、「武漢型」患者発生
- ・ 2/3 クルーズ船で大規模集団感染
- ・ 3月前半で武漢型ほぼ抑え込む以後、より強力な「欧州型」が拡大
- ・ 3/18 38カ国からの入国を制限
- ・ 4/7 7都府県に「緊急事態」宣言
- ・ 6/19 全国の移動自粛を解除

専用病床とホテル 東京都の整備状況

- ・ お台場に「仮設宿泊所」250床 (日本財団)
- ・ 9月、渋谷と府中に専門病院 (200床)
- ・ 都立・公社病院で200床確保の方針





「withコロナ」時代に「死者」から学ぶ「普通の暮らし」

ジャーナリスト・元日本経済新聞編集委員 浅川澄一

コロナウイルスによる感染者数で一喜一憂する日々。「自粛要請」の苦い経験はもうお断りだ。冷静に事態を直視したい。

検査数にばらつきがある感染者数でなく、動かしがたい事実、死者数（7月）を見極めたい。欧州で3万人、4万人なのに、東アジアでは、インドネシアの5千人台が最高で、日本は1000人を超えたばかり。香港で40人台、台湾ではわずか7人。この大差は保健や医療システムの違いでは説明できない。

そこで導き出される仮説は、変異したウイルスの違いか「宿主」の相違だろう。4月2日のNHK「おはよう日本」では早くも、アジアのS型と欧米のL型と2種類を紹介していた。学術誌「bioRxiv」の論考も、中国型と欧州型を峻別。変異によって生まれた、より強力なウイルスが欧米に襲来したという。

国立感染症研究所は4月27日に、この説に近い見解をホームページで発表した。「終息した第1波ウイルスは中国からで、次いで欧米発の第2波が広がった」という説明である。

一方で、交差免疫やBCG、遺伝子などヒトの側の要因で死亡者の差を説明する仮説も浮上している。

死者の内訳と規模に踏み込んでみる。厚労省が発表したコロナ死者の年代別分布をみると70歳以上で84%を占める。昨年の日本人の全死者138万人のうち70歳以上が

85%という結果と重なる。2018年も84%だ。例年と変わらない。自然免疫と獲得免疫は加齢で弱体化する。より免疫力の弱くなった老人が死に至る。死亡原因上位のガンや心疾患、老衰などと同じように自然の摂理に従っている。

高齢者特有の死因、誤嚥性肺炎と比較してみる。人口動態統計では肺炎の年間死者が約9万5000人で、うち誤嚥性肺炎と見られるのが7割、6万6000人前後。別に死亡診断書では誤嚥性肺炎と記入されたのが年間約4万人おり、合わせて11万人弱。月平均で約9000人となる。コロナ死より断然多い。でも、誤嚥性肺炎を避けようと食事の自粛はない。

インフルエンザによる死者は19年が3517人、18年は3325人。家庭内での浴槽での溺死者は2019年に5079人、交通事故死は3715人あった。とって、入浴を止めたり運転の自粛はない。

それでも「自粛」を受け入れているのは「志村けん事件」の「効果」が大きい。「元気な人でも急に亡くなるから怖い」とほとんどのメディアがあおった。実は志村さんはヘビースモーカーで、2016年8月に肺炎で入院。退院直後、禁煙に踏み切った。つまり慢性疾患を抱えた70歳の老人であった。死亡報道で恐怖感が浸透し、「コロナは悪、自粛は善」という「空気」を醸成させた。移動や会合の自由という「人権」が奪われる。個人の「自律」した判断、行動が求められる。

(寄稿)



んどが通常どおりのサービスを続けました。

目黒区に所在する約400の事業所には、必要な衛生用品を購入するための費用の一部として「介護・障害福祉サービス事業者特別給付金」を交付しました。

介護事業者の取り組み

介護事業所は、厚労省や国立感染症研究所から出された感染症予防情報や行動指針などを参考に独自のマニュアルを策定。利用者と家族にアセスメントを行い、同意を得る努力をしています。「マスクの着用」「換気の徹底」「体温・体調や向き合う距離の徹底」などを周知し、代替サービスや筋力低下対策などの提案もしています。画一的に過ぎないTPOに合わせた行動を意識し、「利用者」「家族」「スタッフ」三者の立場からのシミュレーションを行

い、事業所内だけでなく他の事業者間の連携も行っています。

介護事業と利用者の状況

3月から5月にかけて、介護事業所を対象にした全国調査がいくつか行われました。

厚労省の「デイサービス・ショートステイ調査」では、7都府県の4月中旬の休業事業所数は449（52%）。緊急事態宣言前の1・7倍でした。

全国介護事業者連盟の『緊急調査』（4月2日〜10日 有効回答数1789）によれば、9割超の事業所が「新型コロナウイルスによる影響を受け、減収になった」と回答しています。

人とまちづくり研究所（代表・堀田聡子慶応大教授）の調査では、46%の事業所が「利用者の認知機能の低下」を懸念しています。

外出や人との交流機会の減少が影響していると思われる。介護職員の就業状況では4割が影響ないと回答していますが、影響した理

由の上位には「子供の世話や家事」「本人・家族の体調感染・濃厚接触による制限」「体調不安」が上がっています。

[介護事業所管理者調査報告書] からの抜粋

調査期間：5月12日頃～22日 分析対象：5714

- 家族の利用控え・キャンセルがあった（7都府県）
 - ・訪問系 77.2% ・通所系 85.6% ・多機能系 48.6%
- 職員の就業状況（全国）
 - ・影響ない 39.3%
 - <影響したの理由上位>
 - 休校中の子供の世話、家事 41.4%
 - 本人・家族の体調、感染・濃厚接触による制限 27.2%
 - 本人・家族の体調不安 22.4%
- 気になる利用者の状態変化・リスク（全国）
 - ・外出や交流機会の減少 68.1% ・ADLの低下 51.1%
 - ・認知機能の低下 45.8% ・生活満足度の低下 41.1%
- 事業収入（4月の前年比 全国）
 - ・ほぼ同じ 44.7% ・減少 29.5% ・増加 14.4%
- 事業支出（4月の前年比 全国）
 - ・ほぼ同じ 52.4% ・減少 7.3% ・増加 19.9%

新型コロナウイルス感染症が介護保険サービス事業所・職員・利用者等に及ぼす影響と現場での取り組みに関する緊急調査「事業所管理者調査」（一般社団法人人とまちづくり研究所）より引用

コロナ対策の基本は持病対策あってこそ

医師・労働衛生コンサルタント 櫻澤博文

東京の4月の新型コロナウイルスによる死者は104人。それ以外の超過死亡者^(注)は1056人でした。コロナ対策が持病の治療遅延や提供医療を委縮させた結果、コロナ死以外を増加させ、都民の寿命を短縮させてしまいました。

心疾患などの持病対策を優先して

日本では例年、肺炎死が半年で5万人近く出ています。対してコロナ感染を原因とする死者は、この半年で1000人。50分の1に過ぎません。コロナ対策を強固にしても、持病による死亡を抑制できることはありません。日本人は肺炎よりがんや脳疾患、心疾患で死亡する人が多いのです。まずは持病の対策を優先してください。

ワクチンが供給されるまで、長期の自制が余儀なくされます。主治医が濃厚接触者となって戦線離脱する、あるいは医療機関が閉鎖となることも想定し、第2主治医や医療機関も確保しておくべきでしょう。

コロナ対策 ここに注意して

「マスク」と「手洗い」が基本です。

- マスク装用で感染拡大防止
コロナは唾液を通じて感染します。会話の際はマスク装用が効果的です。
- 粘膜に触れる前に手洗いか消毒
コロナは粘膜から体内に入ります。喫煙、食事、トイレ前の手洗い、目や鼻に触れる前の指の消毒は必須です。
- 電子認証やスマホ
交通系ICカードは「非接触式」なので勢

いよく改札などに接触させなくても認証されます。スマホは頻回にアルコール消毒するか、使った後は手洗いを心掛けましょう。

YouTube「外はペンキ塗りたての世界」
外出時のコロナ接触イメージを持つのによりコンテンツです。一見を！

<https://www.youtube.com/watch?v=KVTDXEz9O0Y>

高齢者・基礎疾患者を護るために

予防接種は必ず受けるようにしましょう。

●肺炎球菌の予防接種

(対象者1) 2020年度に以下の年齢になる人 65歳から5歳刻みで100歳まで
(対象者2) 60歳から65歳未満で、「心臓、腎臓、呼吸器の機能に自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害がある人」「ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害がある人」

●インフルエンザの予防接種

接種希望者が増えることが想定されます。主治医に確実に確保するよう依頼しておきましょう。

過剰報道などで感染に対する「強迫的観念」がまん延し、通院や往診へのためらいが生じています。コロナ対策の基本はしっかりした持病の管理から。

(寄稿)

(注) 超過死亡 予測される死亡者数と比較した場合の、増加分の死亡者数 (デジタル大辞泉)



厚生中央病院の取り組み

地域連携広報室副室長／副看護部長

西川英子

1月中旬、中国武漢から新型コロナウイルスが入り、2月3日には横浜港のクルーズ船内で大規模クラスターが発生しました。「これは来るな」と危機感を強め、5日には院内イベント「地域健康フェスティバル」の中止を決定。6日に新型コロナウイルスに関する情報共有会を開き、このウイルスをどう受け入れていくのか、「感染症対策チーム」中心に検討を進めました。

対策の強化へ

新型コロナウイルスは飛沫感染と接触感染による伝播で、空気感染はしません。そのため、マスクの着用、不特定多数が触る物の撤去（ロビーや外来に置いてあるパンフレット等）、定期的な環境清掃（エスカレー

ターの手すり、受付機や精算機等）、職場内・病室の2時間ごとの換気を決め、職員に周知徹底しました。「院内感染」「クラスター」という言葉が聞かれ始め、さらに対策を強化。院内で実施する勉強会やセミナーはすべて中止と決定。「Dカフェ・さんま」も休止しました。

コロナ患者の受け入れ

医療機関として新型コロナウイルス感染症にどう協力できるか？検討を重ねました。しかし、当院はICU（集中治療室）を持たないため、重症患者の受け入れは困難です。そこで、軽症から中等症の患者を早期に受け入れできるよう、1つの病棟を2月15日にコロナ専用に使いました。ゾーニ

ング（感染者と非感染者をエリアで分ける）を徹底し、移動の際も患者が交差しないように動線を確保。医療者は入室の際には防護服を着用します。

隔離病棟とはいえ、そこは生活を営む場でもありません。使用した寝具は？ ゴミは？ 洗濯は？ 食器は？と疑問や問題点が次々と出てきました。今はスタッフも慣れ、診療や看護以外で困ることはなくなってきました。

「発熱外来」と「通常外来」

患者の拡がりにつれ保健所からの、また救急外来やクリニックからの診察依頼が来るようになりました。そこで2月20日に「発熱外来」を設置しました。一般外来の患者との交差を避け

るため一番注意したことは環境清掃です。うっかり接触して知らないうちに……とならないように、患者ごとに次亜塩素酸ナトリウムでの清拭を徹底。手指衛生と防護具の使用も徹底しています。

通常外来の患者さんは一時期、3分の1程度にまで落ち込み、服薬管理が心配されましたが、来院しなくても電話で処方箋の交付ができる「電話再診」で対応しています。

緊急事態明けの6月から患者さんも少しずつ戻ってきていますが、コロナの収束は予測できない状況です。「鬱々としているばかりでも仕方ない。今できることをしっかりとやろう」が看護部の合言葉。生活スタイルを改善する良い機会とも捉えています。



コロナで考えたこと

松沢病院認知症疾患医療センター長 新里和弘

この春、毎月開催してきた「もの忘れ家族教室」を初めて休止しました。10年間一度も休んだことはありませんでしたが、コロナの勢いの前にいまだ再開できていません。私にはコロナ感染症が、今まで目指してきた認知症医療の前に立ちはだかる大きな壁のように思えます。

われわれが認知症医療で目指してきたものとは何でしょう。入院治療では、できるだけ病棟を外に開くこと、家族にも医療・看護の現場を見てもらうこと、「精神科で認知症を診る」一つのスタンダードを作ることでした。外来に関しては、「家族教室」のようなイベントを通じて病院にかかる前のところを手厚くし、受

診しやすい雰囲気を作ることに、そして（直接入院でなく）外来診療でどうしても難しい場合に入院治療に切り替える流れを作ることなどです。これら全てがコロナで難しくなってしまうました。医療現場で、感染リスクを徹底して排除することとは、患者さんと医療側双方に非常に厳しい負担を強いられることがわかりました。面会禁止、有熱時の個室隔離、PPE対応（宇宙服のような防護服を着ての対応）など、特に認知症など弱い立場の患者さんへマイナス影響が過大なのです。

これからは「認知症という病気」で病院にかかるのは、極力控えた方がよいのではないかと考えてしまいます。経験的にわれわれは、

アルツハイマー型認知症では、医療より介護サービスや地域でのサポート体制を充実することの方が重要であることを知っています。ただレビー型や若年性など、専門的見地からの薬物調整や医学的アドバイスが必要な認知症も存在します。コロナの影響が続くなら「診療を求めて一カ所に集まる」というスタイルは成り立ちにくいと思います。では時代に合った診療スタイルはどのようなものか？ また、在宅生活を支える介護・福祉の側がコロナで崩れた時にはどうなるのか？など考えてしまいます。

私のもの忘れ外来に来てくれる患者さんは、現在はいかつての半数以下です。皆さん用心をして電話再診

（薬や処方箋を送るサービス）を用いたり、極力外来間隔を長くしたりしていません。患者さんに話を聞くと、行きたいところにも行かず、若い人との接触も断ち、デイサービスも自粛している人が結構います。このような生活が認知症に良いわけがありません。

認知症専門医として、今ぼんやり重要だと考えることは、認知症に関わる医療人が病院の外に出ること、そして患者さん・家族のみならず介護サービスも含めて支援すること、などですがまだまとまりません。猛威を振るうコロナを前にして、今は手の出しようがないというのが、私の偽らざる心境です。



緊急事態宣言下での成年後見業務

司法書士 宮内悠衣子

4月の緊急事態宣言は、司法書士が担う成年後見人としての業務にも影響がありました。裁判所職員の交代勤務、審判の期日延期などで、家庭裁判所の手続きが通常より時間を要しました。これまでは後見開始申立書を家庭裁判所へ提出してから早いと1カ月で誰を後見人にするか、という審判が下りていたのですが、この期間中は申立書を提出してもそれ以上手続きが進みませんでした。

私の成年後見人としての業務では、成年被後見人の施設入所のための見学が軒並み断られるという影響がありました。こういう時に限って急いで施設を探さないといけない状況

ですのに。

別の成年被後見人で在宅独居、街歩きが日課という方がいて感染リスクが高く心配でした。そのような中でもケアマネやヘルパーの皆さんは笑顔でサービスを提供し続けてくださり頭が下がる思いでした。

緊急事態宣言は解除されましたが、まだまだ面会制限をしている施設も多く、成年被後見人の方々に会いに行けないことが気になります。オンラインや電話で様子を聞くことは出来ていますが、やはりご本人の顔色や表情を見てお話を聞きたいです。

新型コロナ禍と弁護士の暮らし

弁護士 押見和彦

新型コロナウイルスの影響で生活が大きく変わってしまいました。何よりも「裁判所の手続きへの影響」です。遺産分割の調停や、遺言書の検認といった相続に関する手続きは裁判所に直接赴いて行われるのですが、4月に緊急事態宣言が出された後は、5月末までの調停や訴訟の予定はすべてキャンセル。この間、基本的に裁判所はストップしていました（新たな事件の受け付けだけはされましたが、開始未定でした）。

6月に入り、少しずつ再開されましたが、これまで1カ月ごとに進んでいた調停は2カ月ごとの予約になっています。手続きの遅れはまだ続きそうです。

裁判所に限らず、さまざまな機関が制限されていたことを考えると、相続準備の相談は早めにされることをオススメします。特に、遺言を作るという場合は十分に納得できる内容にするためにも、まず専門家への相談が第一歩です。

私は1歳児の双子の育児をしつつの在宅ワークでしたが、ほぼ休業状態。お昼寝をしてくれている時が唯一の仕事チャンスで、2人同時でなければその日はもう諦める……という2カ月でした。

認知症対応型共同生活介護グループホーム

かたくりの里 目黒

東京都目黒区目黒本町5-21-2

3ユニット：定員27名

03-5725-2831

東急目黒線「武蔵小山」徒歩7分



お気軽にお立ち寄りください!

わたしの居場所、あなたの居場所 共に生きる場所

ご入居者さまにとって居心地の良い場所であるために
何が出来るかを常に考え、工夫を重ねています



全床に見守りロボット「眠りSCAN」を配備。睡眠状態を
把握し生活習慣の改善などに役立てています。



ALSOK あんしんケアサポート株式会社

東京都港区元赤坂1-5-31 新井ビル3F
03-5414-5021 <https://acs.alsok.co.jp>

～「安心」と「安らぎ」の空間～

「第二の我が家」と思っていただけ、
家庭的で温かい、心のこもった介護を



グループホーム ひかり目黒

152-0032 目黒区平町2-15-20

お問い合わせ・資料請求は—

電話 03-3718-6866

Email ghhikari_meguro@crest.ocn.ne.jp

グループホーム かがやき目黒

153-0063 目黒区目黒 4-17-18

お問い合わせ・資料請求は—

電話 03-6451-0635

Email ghkagayaki_meguro@orion.ocn.ne.jp



株式会社日光ハウジング

この町で、ずっと……

地域に根ざした活動が続ける、頼りになる介護・看護企業



- 訪問介護
- 24時間定期巡回訪問
- 障害福祉サービス
- 看護師・家政婦(夫)紹介



住み慣れた街で、家で、暮らし続けたい。
そのお気持ちを大切に、
サービスに努めます。

ケアプラン
作成



はぎ介護センター

☎ 03-5436-6081
fax 5436-6082

7階

居宅介護支援事業所はぎ

☎ 03-6417-0341
fax 6417-0342

5階

有限会社 はぎ介護センター

目黒区目黒2-8-10 アーバン目黒ビル 5階・7階
<http://www.hagi-kaigo.co.jp/>



地域のコンビニ介護屋

株式会社 ナイスケア

ケアプラン作成

24時間定期巡回

デイサービス

住宅改修

訪問介護

福祉用具

障害者支援

☎ 03-3717-7143
<http://www.nice-care.co.jp>

介護保険以外は
こちら →

創業昭和30年~不易流行

ケアメイト大岡山

厚生労働大臣許可 看護師家政婦(夫)紹介所



介護や
家事・育児などの
“ちょっと困った”を
ケアワーカーが
解決します。

※ケアワーカーとは家政婦(夫)のことです

☎ 03-3717-3115
<http://www.care-mate.co.jp>

暮らしを支える総合的な介護サービス

優っくり小規模多機能介護 目黒中央



訪問



通い



宿泊

3つのサービスを1か所で



デイサービスと同じ場所で、お泊りもできます。
ヘルパーがご自宅まで伺うこともできます。
優っくり小規模多機能 目黒中央は
皆さまの在宅介護を全面的にサポートします。



優っくり小規模多機能 目黒中央 / 奉優会

目黒区中央町2-32-23

電話 03-5734-1643

メール megurochuo-syoukibo@foryou.or.jp

**訪問看護ステーションSTORY学芸大学
まちかど保健室 Dカフェまちかど保健室**



目黒区全域
世田谷区一部

24時間対応
急患受付

赤ちゃんからお年寄りまで
ご自宅での療養をお手伝いします

☎03-6452-3539

目黒区中町2-31-10
元区役所 さくらプラザ近く

どなたでもお気軽にお越し下さい

在宅看護専門看護師
看護師・保健師
認知症ケア専門士

相談
無料

ナースステーション東京 ~目黒~

Tel 03-6417-0561

24時間
対応

看護師・理学療法士・作業療法士・
言語聴覚士がご自宅に伺います。

健康チェック

リハビリ

医療処置

マイケアプランセンター東京 ~目黒~

Tel 03-6417-0562

ケアプラン作成

介護相談・アドバイス

目黒区上目黒2-36-3

介護のあれこれ、笑顔に変えてゆけ



- ☆訪問介護
- ☆デイサービスセンター
- ☆ケアプラン作成

お気軽にお電話下さい

070-5558-1063

有限会社 生羅 目黒区中央町2-16-3 ミネタウンハウスB棟

生羅にご依頼ください

〈笑顔〉のある介護現場！
後悔しない介護を心がけています

網目のように織られた絹。縦と横幾重にも
重なり合ってるので丈夫な織物を形作ります。
丈夫でありながら、とてもしなやかな
んです。お客様・ご家族様をはじめ、支援
に関わる多くの方々、そして私達、縦横の
交わりを通して、お客様の生活をしなやか
に支えたい！！ 認知症の方に寄り添いた
い！！ そんな願いが《生羅》の二文字。



自由が丘訪問看護ステーション

豊かな経験と確かなケアで
ご自宅の療養を支えます

24時間対応



看護師／ケアマネジャー／リハビリスタッフ

ケアプラン
介護相談
医療処置
認知症ケア
末期・難病
リハビリ
床ずれ

03-5701-2010 <http://jiyuugaoka.net/>

目黒区自由が丘1-23-24 サンテラス自由が丘101



ご相談はこちらへ
Tel 03-6303-4894
Fax 03-6303-4895



いつでも
あなたが
笑顔でいられますように
24時間365日
住み慣れた家での
暮らしを支えます

目黒区中目黒5-1-19 1階

シニアフードアドバイザー

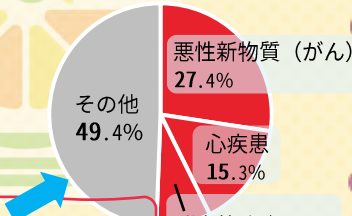
い コ
**食べる喜び、何歳までも
 安心で楽しい食事のために**

家族や大切な方のサポートが必要となった際、
 どのような食べ物、調理法が適しているのか。
 食事に適した姿勢や高齢者の身体の変化など、
 シニアフードについて幅広く学べる資格、
 それがシニアフードアドバイザーです。

生活習慣病予防プランナー

生活習慣病予防プランナーは、
 健康な生活のための体系的な知識と
 スキルを身につけたエキスパートです

生活習慣病は、生活や運動習慣、喫煙や飲酒などの生活習慣によって引き起こされる、さまざまな病気の総称です。



★生活習慣病の一種である
 がん・心疾患・脳血管疾患は死因の約半数!

こんな方にオススメ!

大切な人のために いつか来るそのときの安心のために ご自身の健康のために

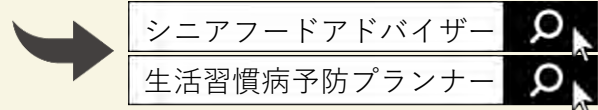


取得は自宅で完結3ステップ!

申込 自宅学習 在宅試験 認定!

資格情報 (2資格共通)

- ・料金：15000円 (税抜)
- ・学習時間の目安：1~3か月
- ・申込方法：当機構HPからお申込み



TEL : 03-6261-2339 FAX : 03-6261-2330

ADDRESS : 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-2-6

CPO 一般社団法人 ケアフィット推進機構

次号予告 2021年3月15日発行

■写真満載 Dカフェ全11店を紹介

祐天寺、学芸大学、都立大学、自由が丘、西小山、武蔵小山……
 東急電車とバスを乗り継いで回る“Dカフェ小さな旅”

■特集「感染症時代の認知症ケア」

- ・コロナ禍で認知症の家族が直面したこと
- ・介護事業者たちの奮闘リポート
- ・コロナ下、高齢者の在宅療養
- ・新里和弘さんの「コロナとWhat is 認知症」
- ・生老病死と公衆衛生 新・生活スタイルを考える……

■連載エッセイ&コラム

エッセイ 「Dカフェの風景」
 コラム 「地域医者のひとり言」
 ルポ 「認知症カフェ であい旅」
 漫画 「ゆずこの素人介護」

「でいめんしあ」は区の施設、地域包括支援センター、そして医療機関、薬局、介護施設など約900カ所です無料配布しています

介護者がつくる認知症情報誌

でいめんしあ No.13

2020年(令和2年)9月15日発行
 発行所 特定非営利活動法人 Dカフェまちづくりネットワーク
 Web <http://d-cafe.kazekusa.jp/>
 E-Mail d-cafe@kazekusa.jp TEL&FAX 03-3719-5592
 本誌は目黒区の補助金を受けて発行しています。

表紙画 <杉本聖奈立体イラストの世界>

杉本 聖奈 (すぎもと・まりな)

1986年東京生まれです。先天性聴覚障害と「人とは何かがちがう独特の個性」の中で成長してきました。私にとって大切だったのは、物事や人とのつながりを理解するために「絵を描く」ということ。コトバが満たない子供の目線で、日常のありのままを皆さんと共に感できたら嬉しいです。



「ここがいいニャン」一宿坊・光澤寺さんでー
 鳥取県八頭町にある光澤寺さんでは、毎年「やずブータン村まつり」を開催しています。宗元英敏ご住職のご縁で2017年、杉本聖奈の立体イラスト作品がブータン王室に献上されました。ブータンは「しあわせいっぱい」の国。ご住職としあわせいっぱいのネコちゃんたちです。

主な活動歴

- 2011 銀座で第1回個展「こころの絵カードの世界」展
- 2012 NHKろうを生きる難聴を生きる「わたしの絵は"ことば"」出演
- 2013 東京メトロクッキー缶「東京三歩」パッケージデザイン担当
- 2014 『聖奈の絵はコトバ』(中央法規出版)刊行 本づくり大賞優秀賞受賞
- 2015 地下鉄博物館で作品展開催
- 2016 障害者スポーツ文化センター横浜ラポールで作品展開催
- 2017 全国若年認知症フォーラムで「でいめんしあ」表紙原画展、講演
- 2017 日本テレビ「ぶらり途中下車の旅」出演
- 2018 ギャラリー電車「えのでん絵日記号」3カ月間運行
- 2018 鉄道イラストで国交省日本鉄道賞「特別賞」受賞
- 2018 江戸電グレープグミゼリーパッケージデザイン担当
- 2019 トット基金美術展、聴覚障がい者芸術展、パラアートフェスに出演
- 2020 三井アウトレットパーク横浜ベイサイドで常設展示

<http://nan-na.jp/>

C'est la vie

介護付有料老人ホーム（特定施設入居者生活介護）

せらび恵比寿

[東京都目黒区三田 2-10-20]

支える人、
支えられる人、
みんな、しあわせ。



せらび恵比寿が選ばれる 3つのポイント



1.5 : 1 の人員体制

お一人おひとりの自由と個性を大切に「上質な暮らし」を送っていただくようお手伝いさせていただきます。



認知症対応力

せらびのグループホーム運営で培われた認知症対応のプロフェッショナルが入居者さまのそばに寄り添います。



個別機能訓練の充実

毎日行われる集団体操、口腔嚥下体操とは別に個別リハビリを最大週5回行っております。リハビリ病院からの受け入れ実績多数あり。

ご利用料金のご案内

終身プラン	入居一時金	20㎡居室 3,000万円	18㎡居室 2,700万円	償却期間 72ヶ月
	1年契約プラン	入居一時金	20㎡居室 600万円	18㎡居室 540万円
月払いプラン	月額利用料	食費 管理費 基本運営費 合計		76,770円 113,652円 81,708円 272,130円
	月額利用料	20㎡居室 500,000円	18㎡居室 450,000円	家賃相当額
ショートステイ		※空室があるときはご利用いただけます。		1泊2日 22,000円

東京都有料老人ホーム設置運営指導指針による施設の類型および表示事項
■類型 / 介護付有料老人ホーム（一般型特定施設入居者生活介護）■居住の権利形態 / 利用権方式 ■利用料の支払方法 / 一時金方式 ■入居時の要件 / 入居時自立・要支援・要介護 ■介護保険 / 東京都指定介護保険特定施設 ■介護居室区分 / 全室個室 ■介護にかかわる職員体制 / 1.5:1 以上

姉妹施設

介護付有料老人ホーム
せらび有栖川 〒106-0047
東京都港区南麻布5-12-12
TEL: 03-5795-4165 FAX: 03-3280-6541

せらび(運営元: 株日本ケアリンク)は、一都三県に事業所を展開しております。せらび恵比寿、せらび有栖川をはじめとした事業所のサービス形態など詳細については、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ / ご見学申し込み せらび恵比寿 担当: 佐々木・福士

☎03-5723-8887

<交通>
・JR山手線「恵比寿」駅・JR山手線「目黒」駅
徒歩11分 徒歩10分

せらび恵比寿 SEARCH

https://www.j-carelink.co.jp/



—介護付きホーム—

ベネッセの介護付有料老人ホーム※1（一般型特定施設入居者生活介護）

ベネッセのくらら

お一人おひとりに深く寄りそう「くらら」の介護

～認知症の方、介護が必要な方、お元気な方も、ご自分らしくお過ごしいただけます～



くらら西馬込 / 4階リビングルーム兼食堂兼機能訓練室

イメージ

人員体制

手厚い「2:1」の人員体制※2で暮らしをきめ細かくお見守り



イメージ

看護体制

看護職員を日中365日配置※2。日々の健康管理や健康相談に対応



イメージ

グループケア

お身体の状態に応じたフロアごとの少人数グループケア



イメージ

お食事

お食事は、ホームの厨房で調理。体調に合わせて個別対応も可能



通常食一例

近隣ホームのご紹介

くらら西馬込※1

東京都大田区西馬込1-29-12
◎都営浅草線「西馬込駅」より徒歩4分(約270m)

くらら用賀

東京都世田谷区用賀2-10-18
◎東急田園都市線「桜新町駅」より徒歩7分(約500m)

くらら田園調布

東京都世田谷区玉堤1-3-3
◎東急東横線・目黒線・多摩川線「多摩川駅」よりバス、「田園調布五丁目」停留所下車、徒歩2分(約160m)

看護職員を24時間配置※2

メディカル・リハビリホーム くらら二子玉川

東京都世田谷区鎌田3-14-5
◎東急田園都市線・大井町線「二子玉川駅」より徒歩19分(約1,520m)

くらら上野毛

東京都世田谷区上野毛4-22-20
◎東急田園都市線「用賀駅」より徒歩13分(約1,030m)

“ベネッセの暮らし”を実際にご体験いただけます。

介護でお疲れのご家族様が休養されたいときなどにもご利用いただけます。

「有料ショートステイ」実施中!*

2泊3日から1ヶ月(29泊30日)までご利用可能

*「くらら西馬込」は除外となります。詳しくはお問い合わせください。

●お身体の状態や空室の状況により、お受け入れができません場合がございます。

●介護保険適用外のサービスとなります。

基本利用料等の詳細につきましてはお問い合わせください。

※1:「くらら西馬込」はサービス付き高齢者向け住宅/介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)※2:職員体制は下記【掲載ホームの概要】をご参照ください。

【掲載ホームの概要】■入居条件/入居時自立・要支援・要介護、契約時原則満65歳以上 ■居住の権利形態/利用権方式【くらら西馬込:建物賃貸借方式】■利用料の支払方式/選択方式【くらら西馬込:月払い方式】■居室区区分/全個室 ■介護にかかわる職員体制/2:1以上(週40時間換算)、夜間帯(22時～翌6時)最少時は看護職員1名【メディカル・リハビリホームくらら二子玉川のみ】介護職員3名(満床時)を配置(人数はシフト数を記載)。看護職員(看護師または准看護師)を常勤換算(週40時間換算)で2名配置(満床時)。■類型/介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)【くらら西馬込:サービス付き高齢者向け住宅/介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)】■東京都指定特定施設入居者生活介護、指定介護予防特定施設入居者生活介護

●写真は「ベネッセスタイルケア」の施設の一例、およびイメージです。また、家具などは参考事例になります。●記載情報は2020年8月現在のものです。広告有効期限:2021年1月末日

有料ショートステイ・資料請求・入居相談のご予約、お問い合わせは今すぐお電話で!

ベネッセスタイルケア お客様窓口 いーな いーろーご
0120-17-1165

◎お電話で、申込番号 K0091599 とおっしゃってください。受付時間 9:00～18:00(土・日・祝日含む毎日)

株式会社ベネッセスタイルケア 〒163-0905 東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モリスビル

各ホームの詳細は、ホームページで!

ベネッセ くらら 検索

<https://kaigo.benesse-style-care.co.jp>

首都圏・東海・関西 エリアを中心に 全国300ヶ所以上 有料老人ホームを展開しております。

以下の個人情報の取り扱いについてをご確認の上、お名前およびご連絡先をご提供ください。
《個人情報の取り扱いについて》お客様の個人情報は、お申込みいただいた資料送付、見学対応等のほか、弊社およびその関連会社の営む介護その他の高齢者事業、保育等の子育て支援事業、健康促進事業、配食事業およびそれらに付帯する事業に関するご案内の送付等、およびサービスや業務の維持・改善の基礎資料に利用することがあります。個人情報の開示・訂正・利用停止等をご希望の場合には、フリーダイヤル0120-924-540(受付時間9:00～18:00)までご連絡ください。私どもはお預かりした個人情報を大切に扱い、取り扱わせていただきます。